

ハイブリッド開催

第3回

高野山リウマチ X'masセミナー

日時

2022年 12月17日 **土**

15:00~19:30

会場

梅田スカイビル 36階 スカイルーム1

お申込み方法

下記URLより必要事項を入力の上、参加登録をお願いします。
参加登録完了後、お申込み内容に応じたクレジット決済ページが表示されますので決済をお願いします。
お申込み締切 :00月00日(○)とさせていただきます。
ご参加いただく先生方全員の事前参加登録をお願いしております。

第3回 高野山リウマチX'masセミナー事務局

事務局：東武トップツアーズ株式会社 メディカルカンファレンスセンター大阪内
〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜2-2-28 堂島アクシスビル7F
Mail:koyasan@tobutoptours.co.jp TEL:06-4799-0118

研修単位

- ・日本リウマチ学会 ○単位
- ・日本臨床栄養学会 ○単位

カリキュラムコード：(0.5単位×〇)

※弊社にて御視聴の記録が確認できない場合は、単位の取得ができませんのでご注意ください。

受講料(お振り込み詳細)

受講料：20,000円

クレジットカード
決済

参加登録URL <https://www.oooo.oooooo>

共催

 Bristol Myers Squibb™
アリストルマイヤーズ スクイブ

 小野薬品工業株式会社



NPO法人リウマチ性疾患に全人的医療で取り組むJ-ネットワーク

プログラム

15:00 – 15:10 開会の挨拶 大阪南医療センター 臨床研究部長 大島 至郎 先生

15:10 – 15:40 講演 ① 「リウマチ学を学ぶということ」

座長 大阪南医療センター リウマチ・膠原病科 医長 磯田 健太郎 先生

演者 聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center センター長 岡田 正人 先生

15:40 – 16:10 講演 ② 「リウマチチーム医療を発展させるために –100名の村澤チルドレンとともに–」

座長 大阪南医療センター 統括診療部長 橋本 淳 先生

演者 新潟県立リウマチセンター 名誉院長 村澤 章 先生

～ 休憩 ～

16:15 – 16:45 講演 ③ 「医師が行う生活習慣病の食事指導」

座長 大阪南医療センター 骨・運動器疾患センター部長 骨・運動器疾患研究室長 平尾 眞 先生

演者 東京医科大学 腎臓内科学分野 主任教授 菅野 義彦 先生

16:45 – 17:15 講演 ④ 「膠原病 Update 2022」

座長 大阪南医療センター リウマチ・膠原病科 吉村 麻衣子 先生

演者 杏林大学医学部 腎臓・リウマチ膠原病内科 准教授 岸本 暢将 先生

～ 休憩 ～

17:25 – 19:25 特別講演 「医の心 苦しむ患者さんと、どう向き合うか」

座長 日本生命病院 リハビリテーション科部長・乾癬センター 辻 成佳 先生

演者 佛心宗大叢山福厳寺住職 (株) 慈光マネジメント代表取締役慈光グループ会長 大愚 元勝 先生

19:25 – 19:30 閉会の挨拶 日本生命病院 リハビリテーション科部長・乾癬センター 辻 成佳 先生

たいく げんしょう 大愚 元勝 プロフィール

佛心宗 大叢山福厳寺住職。(株) 慈光マネジメント代表取締役。慈光グループ会長。

僧名「大愚」は、大バカ者＝何にもとられない自由な境地に達した者の意。駒澤大学、曹洞宗大本山総持寺を経て、愛知学院大学大学院にて文学修士を取得。僧侶、事業家、作家・講演家、セラピスト、空手家と5つの顔を持ち、「僧にあらず俗にあらず」を体現する異色の僧侶。

愛知県小牧市に540年の歴史を誇る禅寺、福厳寺の弟子として育つ。3歳で経を習い、5歳で葬儀デビュー、10歳で僧籍を取得するも、厳しい師匠や堅苦しいしきたり、「お寺の子」と噂される重圧に反発して寺を飛び出す。32歳で起業。慈悲心を具現化したいと、複数の事業を立ち上げて軌道に乗せる。

社員教育は人間教育であることを実感し、40歳を目前に寺に戻ることを決意。事業を後進に引き継ぎ、インドから日本に到るまでの仏教伝

道ルートをはじめとする世界23か国を遊行し、現代における寺や僧侶のあり方を問う。

平成27年に福厳寺31代住職に就任。令和元年には、仏教の本質に立ち返って「慈悲心、知恵、仏性を育む」ことを宗旨とする佛心宗を興し、従来の慣習や常識にとらわれない、会員制寺院として新たなスタートを切る。

現在は、住職としての職務のほか、内弟子僧侶の育成、インターネットを通じて「仏教の本質と実生活への応用」を学ぶことができる「佛心僧学院」、心技体を備えた次世代の経営者を育成する「仏教経営マナダラ研究会」を開催するなど、様々な切り口から仏教を伝えている。

今後は、人口減少、少子高齢化によって消滅しつつある地方寺院の復興モデルとして、「テンプルステイ」や「寺町構想」を計画、「人づくり、生きがいつくり、町づくり」をテーマに、「心も生活も豊かな、小さくとも美しい寺町を作ろう」と提案する「寺町構想」には、国内外の経営者から関心が集まっている。

また、過食、拒食、リストカットを繰り返す少女の母親からの相談をきっかけに始めた、動画配信サービスYouTubeでのお悩み相談番組、「大愚和尚の一问一答」は、登録者52万人を超え、増え続けている。

